



# HOKKAIDO UNIVERSITY

|                     |                                                                                                                                                                                  |
|---------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Title               | ライフスタイル・スポーツから考えるポピュラーカルチャー空間の再構築に関する研究                                                                                                                                          |
| Author(s)           | 戸野塚, 周平                                                                                                                                                                          |
| Description         | この博士論文の全文は利用可能日以降に公開されます。利用可能日以前の閲覧方法は <a href="https://www.lib.hokudai.ac.jp/dissertations/copy-guides/">https://www.lib.hokudai.ac.jp/dissertations/copy-guides/</a> をご参照ください。 |
| Degree Grantor      | 北海道大学                                                                                                                                                                            |
| Degree Name         | 博士(教育学)                                                                                                                                                                          |
| Dissertation Number | 甲第16805号                                                                                                                                                                         |
| Issue Date          | 2026-03-25                                                                                                                                                                       |
| DOI                 | <a href="https://doi.org/10.14943/doctoral.k16805">https://doi.org/10.14943/doctoral.k16805</a>                                                                                  |
| Doc URL             | <a href="https://hdl.handle.net/2115/99650">https://hdl.handle.net/2115/99650</a>                                                                                                |
| Type                | doctoral thesis                                                                                                                                                                  |
| File Information    | TONOZUKA_Shuei_abstract.pdf, 論文内容の要旨 <a href="https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/">https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/</a>                                     |



## 学位論文内容の要旨

博士の専攻分野の名称：博士（教育学）

氏名：戸野塚 周平

### 学位論文題名

ライフスタイル・スポーツから考えるポピュラーカルチャー空間の再構築に関する研究

本研究はポピュラーカルチャー空間がどのように再構築されている今日があるのかライフスタイル・スポーツの観点から明らかにすることを目的とした。ライフスタイル・スポーツは自発的で、外部の規制や制度化とは無関係の私的な局面で行われる行為、社会的アイデンティティに関心を向けた興奮の追求という個人の活動という意味で、かつてのスポーツとは区別されると言われてきた。最も学術的な定義はアラン・トムリンソンらによるもので、従来のスポーツとは異なる方法で実践され、「オルタナティブ」、「ニュー」、「ポストモダン」、「ポストインダストリアル」、「アクション」、「ウィズ」、「パニック」、リスクを冒すことに関連する実践としての「エクストリーム」といった表現がライフスタイル・スポーツを特徴づけていると言う。本研究では、こうした現代社会特有のユースカルチャーに根づくライフスタイル・スポーツは新自由主義、カウンターカルチャーと消費社会、リキッド・モダニティと監視社会、ケーススタディとしての **Red Bull** といった5つの観点から着眼する必要があると考え、以下の観点から論証を試みた。第1章では、抑圧的寛容としての消費文化とライフスタイル・スポーツとの関係を明らかにし、ヒッピーを典型例とするかつてのカウンターカルチャーの衰退、ストリートカルチャーの反権力という記号がいかに消費社会に回収されたのかについて論じ、かつてのカウンターカルチャーと今日的なライフスタイル・スポーツとの差異を明らかにした。また、東京オリンピック 2020 (2021) でスケートボードが正式競技となり、元来、反権力を標榜していたライフスタイル・スポーツが IOC 主催のオリンピックに参画したことを受け、第2章では、東京オリンピック 2020 (2021) で構想された「アーバンクラスター構想」とライフ

スタイル・スポーツが構築する特有の空間の特徴を分析した。アーバンクラスター構想は有明、青海の一带を「アーバンクラスター」と位置付け、エクストリーム・スポーツ国際フェスティバルの開催スタイルをベースに、複数種目の同時開催、野外ライブのような開かれた会場、DJ の盛り上げによる観客の賑わいを生む空間構想を意味した。同章ではライフスタイル・スポーツ文化で重視される特徴としての「文化的真正性」と起業家精神を組み合わせた「セリングアウト」の仕組みについて言及し、そのようなしくみが維持可能な刹那的な空間の分析を行った。第 3 章では、2020 (2021) 年大会からオリンピック競技の正式競技となった「スケートボード」に例をみるライフスタイル・スポーツが東京オリンピック 2020 (2021) に与えた影響を新型コロナ・ウイルスの影響によって生じた「構想」と「実際」との観点から明確にした。なおライフスタイル・スポーツ産業の一つと言える Red Bull はライフスタイル・スポーツへのスポンサードにより自社のイメージ形成に成功したと言われている。そこで、第 4 章では、Red Bull が刊行するライフスタイル雑誌 : *The Red Bulletin* の分析を通じて、ライフスタイル・スポーツにみられるブランドの世界観を明らかにした。具体的には、キーワード分析を通じて、*The Red Bulletin* の関連用語を階層化し、先行研究が論じてきた概念の特徴とどの程度一致しているか検証を試みた。第 5 章では、Red Bull というブランドの世界観がライフスタイル・スポーツ特有のマネジメントを通して、ライフスタイル・スポーツ概念に関与する点について論じ、具体的には、パインとギルモアが提唱した「経験経済」の要素と「The World of Red Bull」のは親和性を検証した。以上により、ライフスタイル・スポーツで形成されるポピュラーカルチャー空間の特徴は次のように集約できる。

まず、第 1 章ではライフスタイル・スポーツは、カウンターカルチャーの系譜を持ち、カウンターカルチャーが重視する「Do it Yourself」の理念を体現していた一方で新自由主義的な価値観にも順応し、強かに商業活動に従事していたことが明らかになった。このことは、ライフスタイル・スポーツが「文化的真正性」を維持しつつも、新自由主義の下で起業家精神を発揮するという柔軟性を持ち合わせていることを示している。第 2 章では、ライフスタイル・スポーツがオリンピックにその理念を回収されたかのような外観を呈しても、大会後にはストリートの精神に戻り、IOC が正式競技と認めない危険な競技を続行するという強かな態度を示していたことを明らかにした。つまり、オリンピック種目に採用されることで、ライフスタイル・スポーツの側は、IOC に若者文化のクールな側面を提供し、自らも新たなテリトリー領域においてキャリア構築のきっかけを得る一方で、信

念までは「セリングアウト」をしないという巧みな戦略を取っていたことが明らかになった。

第3章では、東京オリンピック 2020（2021）で構想されていた「アーバンクラスター構想」の理想と現実を SNS 空間の分析を通して考察した。結果、ライフスタイル・スポーツにオリンピックのイメージを付与し、若者のオリンピック離れを食い止めることが意図されていたが、現実面では、無観客でありながらも SNS を通して不可視的な競技空間が拡張され、ライフスタイル・スポーツの選手自らのブランディングを向上させ、キャリアを開く方法になることを若者に示すことにつながったことが明らかになった。

また、第4章と第5章を通じて、Red Bull は、ライフスタイル・スポーツを鍵概念とし、経験経済のしくみを効果的に誘導し、新たなポピュラースポーツ空間を構築していることが明らかになった。しかも、「翼を授ける」の誘い文句に表れているように、カウンターカルチャーへの社会参画を通して、ライフスタイル・スポーツ空間の構築を装いつつ、実質的な商業収益に関与していた。しかも、その触媒は SNS であった。かつてのカウンターカルチャーであった 1950 年代のヒッピー文化が消費文化に回収され、終焉を迎えたのとは異なり、SNS を駆使して、自己ブランド化をはかるライフスタイル・スポーツの選手は消費社会への吸収ではなく、自らが発信源となってネーミングライツを獲得している。

結論部分では、オリンピックによる若者文化という回収の試みもしたたかに利用するサブカルチャーとしてのライフスタイル・スポーツが有する構築性は、「グローバル」とアナロジーがある点について論じた。オリンピック種目となることで、そのグローバルな世界にセリングアウトしつつも、ライフスタイル・スポーツが拠り所としてきたレペゼンないしは縄張りとしてのストリートが解体されることは望まない。これらの特徴はライフスタイル・スポーツ空間が、ローカルでもグローバルでもあるという新たなコミュニティの構造をリキッドに変化できる柔軟性をもつという最大の強みに依拠していることを示している。